

産業経済

産業経済(テーマ :新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「残したい」、「伸ばしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-4	川内市	29	女	祭り行事のアピールを大きく
1-13	川内市	41	男	豊富な自然(海・山・川・温泉)を活かした体験型イベントの開催(グリーンツーリズム ブルーツーリズムのイベント版)
1-23	川内市	43	男	残したいもの...自然(特に海岸線)、川内大綱引。伸ばしたい工夫したい...観光(今ある財産を連携させて新たなルートを開設)
1-39	川内市	29	男	川内川に代表される豊かな自然を活かし、川を利用したイベントや地域に残る伝統行事などをPRし、集客を高める。
1-42	川内市	28	男	川内市にも大きな祭り(イベント)花火大会やはんや祭りその他がいくつかあるが、いずれも単純であり、一瞬の盛り上がりでしかないような感じがある。川内大綱引きのような、徐々に盛り上がりそして、大爆発するようなそういう祭りらしい祭り(イベント)を新市ができるのを機会に各市町村の良い所を残し、伸ばしていくために総合プロデュースできないかと思えます。
1-46	川内市	52	男	新幹線が平成16年春に開通するので、観光に力を入れてもらいたい。通過型から滞在型への取り組み。観光コースの設定を図る。
1-49	川内市	47	男	川内川を活かしたイベント、事業等。川内大綱引保存会は残していきたい。
1-51	川内市	40	男	川内川を活かしたスポーツや催し物など。例えば、カヌーツーリングやいかだ下り、新市最上流部から川内川河口までの、東シナ海探検ツーリングなど。川内川河川敷に、サイクリングロードを整備するなど。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	串木野市及び甌島4村の魚、川内市のごぼう、ラッキョウ、東郷町のイチゴ・みかん入来町の金柑など、誇れる農産物がある。また、川内市、樋脇町、祁答院町に温泉がある。今度、これらの自慢できるものを売り込む。
1-66	川内市	58	男	大綱引きとはんや祭りは市民の手作りで...工夫したい 温泉地を利用した観光地、観光農園(清水ヶ丘・湯田西方地区)...伸ばしたいこと 離島の甌島まで同市であること。(自慢したいこと) 川内川花火大会と広い河川敷は残したい。
1-72	川内市	28	男	アリーナ・総合運動公園を利用して大規模な催しを。
1-74	川内市	48	男	2市4町4村の枠組みは、県下第2の拠点堵市として、新幹線、西回り、広域港湾、川内川をもち、甌島の観光漁港海洋深層水など、発展性が豊かで、地の利として東海圏に向かっている。川内港と串木野港を一体化し、背後の交通アクセスを整備することにより、農林業も振興を図る。
1-81	川内市	29	男	川内川花火大会、大綱引き...残したい 福祉施設増築...伸ばしたい 年中活気ある市であること。(川内市を中心として東郷の鮎や観光農園、樋脇の温泉や串木野の漁業、つけあげ、金山、甌島の海を活用したキャンプ施設等)...自慢したいこと
1-93	川内市	27	男	合併対象の市町村独自の文化・伝統を他地区へ発信して観光客の誘致事業を展開する。
1-95	川内市	30	男	甌島を迎えることが確実となっている。鄙びた宿泊施設や海水(深層水ならより良し)温泉等を備え、その自然を全面に押し出してPRしては？
1-97	川内市	39	男	歴史...神話 寺山...活用の見直し 温泉 甌島のアピール
1-98	川内市	40	男	川内川や東シナ海の自然。自然を生かした産業をおこしていくこと。海や川を生かしたり、温泉を生かしたりした地域づくり。公共の温泉施設などがあるといい。
1-100	川内市	34	女	はんや祭、綱引きは残してほしい。川内川の流れを工夫した公園をつくってほしい。商店街が早く閉店して国道沿いが寂しい気がするので、どうか工夫ができないものでしょうか。
2-1	串木野市	41	男	海と山、恵まれた自然があるのに、それを活用した祭り、催し物(ジョギング大会やダイビングなど)がない。

2-5	串木野市	47	男	郷土の誇りである浜競馬、ガウンガウン祭り、太郎太郎祭りを自慢したい。また本市の特産物である「つけあげ」の種類を工夫して全国にアピールしてもらいたい。
2-105	串木野市	38	男	マグロのまちのイメージは残したい。
2-108	串木野市	44	女	冠岳園の観光地としての有効利用を(最低限維持費を生み出せるだけの収入を得る事が出来るように観光客が単に見るだけではもったいない。)市中流しでたくさんの人出があるのに踊り終わった後何もない。それだけの人を集客するのは難しいのだから、せっかくの人出の有効利用を。
2-110	串木野市	55	男	川内港と串木野港と一体となった活用を図り、漁港、商港、観光港等それぞれの特性をもった位置づけを行う。又、甕島の特性を生かした沿岸漁業、養殖事業等の振興を図り、それらの出荷品の串木野港への集約化を図る。
2-111	串木野市	44	男	甕島や市比野の温泉などの自然資源の活用(資源のない所を開発するよりはあるものを活かす)国道、新幹線、船(海上ルート)等の交通拠点(地理的位置)としての機能
2-114	串木野市	30	男	冠岳については、串木野市において自然の里づくりとして事業進めており、ハナハナ所巡りなどと合わせ、歴史のある観光スポットを目指すものであるが、あの一体だけでなく川内側のレストラン等樋脇の温泉宿泊ゾーンち冠岳をとりかこむ地域を結ぶ交通施策を充実させて、広範囲の観光地づくりを目指す。スポーツ国際交流員招致事業により、広まっている気功をより根付かせ、継続させるため、多数の指導者を養成し、音楽も防災無線で流し、ラジオ体操のような形をとる。また、小中学生の夏季のラジオ体操についても気功を加える。最近の「まぐろラーメン」「まぐろ餃子」は、「まぐろのまち串木野」のイメージと、市民生活の実態との隙間を埋めるものとして大きな役割をもつものになり話題も集めている。このような昔から根付いている資源、イメージを大切にし、工夫することで合併後も特色のある地域として生きてくる。「まぐろラーメン」については、麺を扱う店舗に限られたため、まぐろ村等まぐろを常時食べられるような店舗の広がりをつくりたい。
2-119	串木野市	53	男	また、工夫したいこととして、新しい市が誕生したときは、市内の人と人との交流を活発化し、交流連帯による協調意識形成を早急に高めて行く必要があり、これへの対応の一つの例として、市内各地域での祭りなどのイベント等において、それぞれの地域からの大型バス数台を利用して、多人数の招待を行って交流など工夫してみたらどうでしょう。自慢したいことは「大型商業港を2箇所備えた町」とうことである。これは、中国沿岸都市と今後益々発展して行くであろう交易の拠点都市として、地理的条件と共に優れた条件下にあるということである。
2-124	串木野市	47	女	串木野から海のイメージは取りはずせない。つけあげ、かまぼこは一段と伸ばしてほしい。
2-127	串木野市	39	男	「自慢したい」...豊富な水産資源、近海の水産物、遠洋のマグロ「残したい」...串木野浜競馬、海水浴場「伸ばしたい」...地元雇用、ゴミ分別収集、海洋レジャー(魚釣り等)「工夫したい」...住民サービス、職員採用 市外からの採用重視
2-128	串木野市市民生活課	26	女	各地区地域の特色ある祭り等は絶対に残すべき。豊かな自然や温泉に恵まれた地域なので、それを生かした観光都市として、発展してほしい。
2-130	串木野市	35	男	行政主導型の政策ではなく、住民主導型、市民先導型の政策、イベントを行ってほしい(補助金があるから実行するイベント事業ではないこと)
2-132	串木野市	32	男	浜競馬 マグロに関するもの
2-15	串木野市	38	男	2市4町4村が合併したら新たな観光ルートができるため、工夫ひとつで新しい市の活性化につながると思います。
2-19	串木野市	32	男	新市誕生の熱が冷めない内に、2～3日がかりの新市全域を巻き込んだ祭りやイベントを行ってみては?(こういう時だからこそもしゲスト等を呼ぶ時は、ケチらない方が
2-23	串木野市	53	男	平成13年から生福地区で行われている徐福花冠祭を地域おこしの祭りとして、その輪を広めたい。
2-34	串木野市	40代	男	西薩中核工業団地の有効利用に対する工夫(例 新港フェリー利用客、将来展望(中国等との貿易など)を見据えた心休まる公園緑地化・施設建設)
2-35	串木野市	32	男	串木野にせっかく温泉施設ができたのだが、もっと若い人も集まる様にフィットネスクラブやトレーニングジム等を設置してみれば、[金]よりも、マグロやさつま揚げの知名度があるので、[食]に関する名産はもっとアピール工夫していった方がいい。
2-38	串木野市	44	男	他県、他市町村から人々が集まるようなイベント観光地がほしい。現在他県に誇れるようなものは何ひとつない。県一、九州一、日本一がほしい。
2-43	串木野市	34	男	新市の特色、海、山、温泉、郷土料理を一体に観光地化できないか。

2-49	串木野市	46	男	金山とまぐるにちなんだちかえて祭り、さのさ祭り等一つにまとめて、大イベントにする。
2-57	串木野市	42	女	各地に古くから伝わる文化(郷土芸能、祭り、文化財)を守り、伝承してほしい。地名は今のままでも残せるのではないか。国民宿舎は残して欲しい。新市誕生後に同じ市の市民同志わり合えるよう、また市内のことを早く知るように、何らかの広報なりイベントなりをやって欲しい。
2-68	串木野市	54	男	整備した港湾の充実と国際物流基地への期待
2-70	串木野市	27	男	産業分野において特に力を入れているもの
2-76	串木野市	32	女	市外から人が集まるようなイベントを計画
2-90	串木野市	53	男	吹上浜から羽島・土川の海岸線、冠岳周辺の自然景観。西薩工業団地(串木野の特産物等と直結した食品加工販売ー市民が集まる工業団地)
3-27	樋脇町	45	男	市比野温泉の呼称を残すため、地域で採れた食材による料理の提供をするとともに、遊湯館を中心として農業、商業、旅館業が三位一体となったイベントを行う。又、新市全域で温泉、名所、旧跡を活用した観光ルートの開発を行う。
3-30	樋脇町	57	女	緊急土地基盤整備作業 スポーツ行事(ホッケー大会、サッカー大会、丸山駅伝大会)各地区の伝統行事
3-51	樋脇町	43	男	市比野温泉 ホッケー、サッカー施設の充実 合宿、大会の呼び込み 四季折々の祭り、イベント
3-54	樋脇町	30	男	祭り等の集約(構成市町村全体)による大規模なイベント化
3-60	樋脇町	30	男	丸山自然公園、スポーツイベント、スポーツ合宿等の誘致、川内花火大会、いむた池、入来の文化財(入来文書等)
3-8	樋脇町	54	男	農業を地域産業の基幹として位置づけし、農業生産基盤の整備、担い手の育成に努力している。樋脇高校の充実、丸山公園、市比野温泉、スポーツ(ホッケー、サッカー等)運動してイベントの継続強化 *倉野磨崖仏
4-3	入来町	31	男	郷土芸能など、歴史的なイベント等は各地区で継続していく必要があるが、新市の全域を季節ごとのエリアに分けて、季節にあったイベントを各地で行えば、各地区を有効に活用できるのでは。
6-15	祁答院町	49	男	2市4町4村には、各種のイベントが多種多様にあります。鹿児島市に次ぐ県内第2の人口規模になります。このため国・県の文化財指定的なイベント及び全国的に報道されるものは、各市町村に残し、同じ規模のイベントは、統一し開催場所は、持ち回りとする。
6-16	祁答院町	30	男	県立自然公園「いむた池」の整備(観光スポットになるような公園にしたい。)
6-19	祁答院町	60	男	高齢者等の交通手段の確保が必要、新市の中心部とのアクセスはもちろんだが、旧町村間を運行するミニバスは存続する。年に一度、全旧市町村の伝統芸能祭を披露する「伝統文化の祭典」を開催する。
6-4	祁答院町	25	男	田畑を1年中使えるように工夫したい。考えていきたい。若者が気兼ねなしに暮らせるような生活環境を整え、伸ばしていきたい。
6-5	祁答院町	39	男	一般公道でのロードレースの規制が厳しくなる現状で、蘭牟田池でのロードレースは継続して実施したい。新市誕生後、旧10市町村の住民交流・親睦を深めるイベントの開催
6-8	祁答院町	47	男	水稲、畜産、園芸等による循環型農業の強化と産地の形成
7-10	里村	52	男	観光客伸ばしていきたい。自然との共存(マリンスポーツ)
7-6	里村	32	男	各地区の伝統行事(祭り)を一箇所で一斉に行う。(例えば、川内市はんや祭り時に下甌のトシボン、東郷町俵、鬼人踊り、里のかずらたてをするなど)新しい市の新しい取り組みという形で打ち出すのではなく、伝統行事が一本化したという形で行い、観光や地域のアイデンティティーを残すため。
8-12	上甌村	46	男	自然の景観・景勝地の保護。魚礁投入による海洋牧場を開拓し漁協と提携して釣客等を招集できる自然釣堀場の開発
8-13	上甌村	53	男	甌島は自然のままの観光地が多く、又昔から受け継がれている祭りも多いのでこれらを生かした観光振興をやってほしい。

8-14	上甌村	47	男	自然豊かな景勝地(長目の浜等)を活かしたイベントを行う。
8-16	上甌村	32	男	人情豊かなわが村の特に自慢したい景勝地として、県立自然公園にも指定されているなまこ池、長目の浜を上げたい。なお、村花であるかのこ百合は観光客にも大変喜ばれている。かのこ百合の原産地は甌島であり、世界に対しても自慢である。
8-4	上甌村	60	男	美しい自然 各種イベント(地区の祭り・スポーツ等) 水産・観光・福祉の村づくり 環境づくり
8-5	上甌村	33	男	自然を残しつつ、観光の面でもっとピーアールを
8-6	上甌村	59	男	自然的条件を生かした施策(景勝地)・甌島は海を活し、保養地みたいな地区としたら?
8-9	上甌村	29	男	島の特色としてはやはり自然や海に関する事業を伸ばし自慢できるような取り組みをしてほしい。
9-7	下甌村	38	男	・各地区の無形文化財を伸ばしていく(ドンドン等)・記念イベントとして、甌を含めた駅伝大会を実施したら
10-3	鹿島村	48	男	全国でも珍しい海を挟んだ広域合併である。その離島を生かした総合的な観光地づくりを希望する。藺牟田瀬戸架橋の実現は広域合併のメリットとして、甌島の産業、観光の活性化のために、都市まちづくりの目玉にするべきである。
11-2	川内地区消防組合	39	男	川内川,川内大綱引き,川内川花火大会
11-3	川内地区消防組合	36	男	その土地風土を最大限に尊重した独自性ある新市に。祭りなどは市民全員が参加・取り組めるような祭りの計画
11-4	川内地区消防組合	24	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-5	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-8	川内地区消防組合	39	男	伝統ある“川内川大綱引き”は新市誕生であってもそのままの呼び名そのままの形,また花火大会も同様に残すべきと思う
11-9	川内地区消防組合	41	男	川内川,川内川花火大会
11-10	川内地区消防組合	35	男	大綱引きを残すこと
11-11	川内地区消防組合	49	男	新しい市を活性化させるイベント・祭りとして川内川の河川敷で日本一の大鍋を作り芋煮会を行い,全国的に注目されるイベント,祭りにする。また,東北の仙台にもあるらしいので北と南で交流を図り,文化社会的に活性させる。
11-12	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-13	川内地区消防組合	24	男	川内大綱引き,川内川花火大会,公共の場(公園)を利用した特産物をPRするための物産展の開催
11-14	川内地区消防組合	50	男	合併後暫定的に市役所庁舎等公共施設の改修等が行われると思うが,固定観念とらわれることなく,早い段階で新市のシンボルにふさわしい庁舎,利便性に富んだ場所の選定など行い新市役所庁舎建設を望む
11-21	川内地区消防組合	43	男	川内大綱引き,花火大会
11-24	川内地区消防組合	19	男	川内川,寺山,花火,綱引き

11-25	川内地区消防組合	37	男	関係し町村で取り組み「はんや祭り」等のイベントと拡大していく
11-26	川内地区消防組合	27	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-27	川内地区消防組合	23	男	花火大会,川内大綱引き
11-28	川内地区消防組合	28	男	現在ある各市町村の伝統的祭りはそのまま残し,新市誕生に伴いそれを記念する新たな祭りを開催(開催地域は持ち回りしていく)
11-30	川内地区消防組合	52	男	大綱引き,レガッタなど新ルールで仕切直せばおもしろいと思う 美しい自然公園を残す。
11-44	川内地区消防組合	25	男	「大綱引き」や「はんや祭り」「花火大会」等の伝統的な物は残してほしい。
11-46	川内地区消防組合	39	男	花火大会,川内大綱引き等の伝統的催し物を残す
11-47	川内地区消防組合	38	男	花火大会,川内大綱引き,はんや祭りそして,他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-48	川内地区消防組合	25	男	花火大会,川内大綱引き,はんや祭りそして,他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-49	川内地区消防組合	40歳代	男	現在行われている祭りなどに,行政側も積極的に呼びかけを行って残してもらいたい。
11-51	川内地区消防組合	26	男	残したいのは,各地域での伝統的なイベント,祭りは今まで通り続けてほしい
11-57	川内地区消防組合	42	男	大綱引き,花火大会
11-59	川内地区消防組合	50	男	はんや祭り,大綱引き,川内川花火大会のイベントは残したい。
11-60	川内地区消防組合	55	男	各市町村に伝わる,芸能また市町村が主催してきた祭りなどは残し,新しい市に後にまで残るイベントを作ってもらいたい。
11-62	川内地区消防組合	55	男	川内川河川敷に桜の木があり,遊歩道の脇にベンチを,又夜は,水銀灯がとり,市民の憩いの場になってもらいたい。
11-63	川内地区消防組合	54	男	温泉自慢(川内市街区,湯島,高城,東郷,市比野,鷹之巣,市比野,副田,諏訪,藺牟田,砂石,白浜(羽島),里 神社(新田神社,藤川神社,日之丸神社,冠岳,甕大明神等) 池(藺牟田,小平,海鼠,貝,楸崎) 川内川
11-64	川内地区消防組合	40	男	各地域に伝承されている伝統芸能や祭りを残していくとともに,新市の新しい文化作りを考えてほしい。
11-69	川内地区消防組合	28	男	川内川大綱引を残してほしい。
11-70	川内地区消防組合	23	男	川内川大綱引を現在のままの形で残していってほしいと思います。

11-71	川内地区消防組合	44	男	川内市の綱引きや串木野市の港まつり等各市町村には数多くの行事があり、行政の補助を受けながら地域住民の保存会事業として残してきている行事があると思います。何十年、何百年も地域の人々の努力によって引き継がれた行事を絶やさないう新市になっても補助等を行って続けていけるようにしてほしいものです。
11-74	川内地区消防組合	38	男	川内大綱引きは今後も残っていくと思いますが、もっと見ている人が楽しめるように、綱が動くようにしたらどうですか。又川内カップが 県外からの参加者が多くなるように、市がもっと協力すべきではないですか。せっかく綱の町、川内をアピールしているのですから。
11-75	川内地区消防組合	44	男	伝統的なものを継承し、新市が誕生することでなくならないよう住民自ら盛り上げ、公共機関等のバックアップで後世に受け継いでいけるような下地をつくるのが肝要では。
11-84	川内地区消防組合	19	男	川内川花火、大綱引き
11-85	川内地区消防組合	30	男	花火大会継続、大綱廃止、はんや祭り廃止
11-86	川内地区消防組合	55	男	地域の伝統行事等はできるだけ残したい
11-87	川内地区消防組合	22	男	花火、お金を回す
11-88	川内地区消防組合	23	男	川内大綱引き、花火大会、マグロフェスティバル、納涼祭等の祭り
11-89	川内地区消防組合	29	男	川内川の名前が残るのに川内市の名前がなくなるのは寂しい 大綱引き、花火大会
11-90	川内地区消防組合	33	男	大綱引き、はんや祭り等イベントをもっと盛大にやりたい。
11-92	川内地区消防組合	21	男	川内川花火大会、川内大綱引き
11-93	川内地区消防組合	40	男	川内大綱引き、花火大会
12-2	西薩衛生処理組合	53	男	伝統ある祭りとイベントの調和:地域分散の祭りを重要視するなかで、総合グラウンド等での地域の祭りが集中した大祭りイベントの開催を提言する。(住民の相互協調と育成につながる)
12-3	西薩衛生処理組合	38	男	地方からも人が集まるようなテーマパークがあったら!
12-4	西薩衛生処理組合	52	男	合併後は温泉、公園、娯楽施設を整備して観光都市にしてもらいたい。
12-6	西薩衛生処理組合	46	男	久見崎から羽島までの海岸線のすばらしさを自慢し、観光の前面に出してほしい。
12-8	西薩衛生処理組合	50	男	合併前の市町村にあった伝統行事を継続し、今まで単独で実施していた祭り等も、新市の誕生月日に合わせ、合同でフェスティバルを開催し、実行委員等についても、地域の意見を尊重したまちづくりが大切だと思う。
12-10	西薩衛生処理組合	43	男	合併後は、旧市町村の特色を最大限に活用し、13万都市にふさわしい観光都市を目指し県内はもちろん、県外からも多くの人に来てもらう県内NO.2の都市にってもらいたい。又、娯楽施設と市場的物産展などイベントふれあい館などの建設計画を進めてもらいたい。
12-11	西薩衛生処理組合	35	男	温泉を観光の中心にできるよう、整備してほしい。はんや祭りが鹿児島市のおはら祭りと同日になっていると観光客がなかなか来ないので。都城市のように、冬に花火大会をしてみれば。

13-8	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	28	女	観光スポットやイベント祭(市外からもたくさんの人に参加してもらえるような事)
4	個別応募:川内市	31	女	自慢したいもの・山、川、海といった豊かな自然・おいしい特産品、癒される温泉・伝統行事、歴史 残したいもの・歴史を感じるもの(遺跡・建物・伝統行事・郷土芸能等)・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性 伸ばしたいもの・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性をさらに充実・各世代がともに楽しめるイベント・各地の可能性、人々の可能性 くふうしたいもの・各世代がともに楽しめるイベント(小さい子供連れも、若年層も、お年寄りも)またはそれぞれが年代別で楽しめるイベント・住民参加型のイベント・普段の生活で気軽に利用できる公共施設、催し物・各世代それぞれに対応した広い意味でのまちづくり
5	個別応募:川内市	24	女	自慢したいもの・広大な川内川。他県出身なのですが、はじめて川内川を見たとき、広さにびっくりしました。シンボルになると思います。 残したいもの・寺山の宇宙館。公園から見る夜景も素敵です。近くにライトがなければいいのになって思います。 くふうしたいもの・若者が買い物をしたいと思っても、おしゃれな場所がありません。しかし、郊外に大きな店舗を建てても若者が郊外に逃げてしまいます。ですから都心にファッションビルを作ってほしいです。

産業経済(テーマ : 「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか?)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	商工政策の推進。高齢者や乳幼児を大切にする福祉の充実
1-4	川内市	29	女	観光スポットを作る。
1-8	川内市	54	男	温泉と温暖な気候を活用し民間活用の温泉リゾートホテルと観光植物園。(ホテルでは、海の魚料理、山を活用した山菜料理を取り入れる)
1-15	川内市			商工業等希少価値で勝負する。希少価値のある”もの””場所”等を糧とする、農村改革。
1-24	川内市	26	男	市街地の拡大。テーマパークのような大きな名所を設ける。
1-49	川内市	47	男	生涯を通して健康で安心して暮らせるよう福祉・都市環境等の整備と交通路の確保と拡充。地元で一生暮らせるよう市民所得の向上や各種産業の振興、就業環境をはじめとする勤労者福祉の向上
1-51	川内市	40	男	それぞれの市町村が持つ歴史や観光名所などを組み合わせ、市外へ向けた観光情報の発信を行う。この場合、それぞれの観光地等を組み合わせ、ある程度のスケールで、単発ではない観光ルート等を整備する必要がある。
1-60	川内市	42	男	多様な温泉と甕島のネットワーク化 ・全国的に知名度の高い市比野温泉について、新しいイメージを創造(男性団体客中心 女性や家族中心へと転換)。景観整備とサービス向上が必要。・市比野温泉の新イメージ定着と同時に他の温泉とリンクさせ、他の温泉の知名度もアップさせる。ドライブがてら温泉のハシゴをしてもらえば、その後、甕島まで足を伸ばしてもらえば最高です。
1-61	川内市	42	男	食に関する1次産業(農業、水産業)・関連2次産業(食品加工)・3次産業(グルメ・旅・温泉)の総合的な振興 具体的には、・地産地消の徹底(コストを行政と消費者が負担する。例えば、学校給食の食材は市内調達を原則とし、経費増分は市が負担する。)・「美味・安全な食のまち」のイメージ定着と交流人口増等々
1-68	川内市	39	男	若者や家族連れが楽しめるような場所をつくる。もしくは誘致する。(ディズニーリゾートのような)

1-70	川内市	52	男	北薩の拠点として魅力あるまちにするためには、学習環境の整備、若者が買物等で市外に流出しないような場所が必要ではないか。新幹線の開通でなお買物、レジャー等で流出が予想されるので1ヶ所に施設を集中して学習、買物、レジャー等できるような場所があれば。
1-79	川内市			合併した市民の生活圏を外の市に行かない様に今の川内市が中心となり商店街の活性化を図ってもらいたい。新川内駅周辺に大型店舗をたくさんつくる。川内市は今まで、これといった特産物がなかったので、川内に行けばこれがあるのだというような特産品を作ってもらいたい。
1-85	川内市	28	男	若者達が遊べるテーマパークを作っていければ。
1-86	川内市	27	男	スペースワールドのようなテーマパークができれば活気のある町になると思います。
1-87	川内市	27	男	活気のある町にするために、向田町の商店街をまず繁栄させて、若い人を定着させる必要があると思う。
1-88	川内市	25	女	観光客をひきつけるような観光地をつくる。遊園地をつくる。
1-89	川内市	25	男	文化交流が盛んな町づくりが大切だと思う。また若者たちが集まってくる施設(例えば、レジャー施設、コンサート会場など)を建設してほしい。
1-90	川内市	26	男	若者が集まる街。買い物ができる鹿児島市みたいに天文館。ブランドショップの誘致
1-91	川内市	26	男	川内市街の活性化 例えば他市の若者などが買い物に来るような街
1-92	川内市	29	男	川内市向田町の3号線の商業活性。若者が川内市に就職できるように企業の誘致などを行ったらいいと思います。
1-102	川内市	36	男	川内港と串木野港の役割分担を明確にし、アジアおよび国内の海の玄関口となるようにする。将来を担う子供達が、郷土に誇りがもてるようにする。(郷土愛の育成)
1-105	川内市	48	男	人が現在の生活圏を広げなければ、過疎地域はますます拡大する。また、旧市町村のルーツや史跡等を紹介しあい、お互いの文化を理解しあわなければひとつのまちとしての一体感は発生しないと思う。福祉やスポーツなどその地域はが力を入れてきた分野がある。その質を落さないようにすることが大切なのではないだろうか。人が各地に出かけるようにすること(イベント等)も活気あるまちにつながるのではないだろうか。
2-1	串木野市	41	男	若者に魅力的なまち、医療・福祉の充実したまちにしたい。定住人口を確保し、人口減少を低減するため、若者に魅力ある企業の誘致
2-5	串木野市	47	男	企業を誘致して若者が働けるようにする。人情味が深く、ふれあいや連帯感のある地域づくり。
2-7	串木野市	38	男	子供達が学校を卒業した後の就職先が県外が多いため企業を誘致し、地元で就職できるようにしたらどうか？そうすれば飲食店等も利用客が増え活性化の1歩となるのでは。
2-8	串木野市	43	男	若者が生活できる街づくりが大事。そのためには、若者が多数働ける企業誘致が是非必要。
2-12	串木野市	32	男	自然や街をテーマとした観光地としてアピールできることが大切であり、とにかく人がたくさん集まる施設の建設等
2-13	串木野市	43	男	街の拠点を作ることにあると思うが、大型店舗の進出等で商店街も苦しい状況にある。商店街を潤やすためには、金の動くもの、例えば競輪、競艇といったものを作ってはどうかと思う。
2-14	串木野市	26	男	既存の観光施設の中から一つをしぼって、新市合併後の目玉となる観光施設をプロデュースし、市外、県外の人々の流れをつくり、活力あるまちづくりをしてほしい。企業誘致
2-20	串木野市	58	男	企業の誘致、地域の地場産業の育成など若者が定住できる施策を積極的に行う必要がある。
2-21	串木野市	34	男	テーマパークを作り、繰り返し観光客が呼べるまちにしたらよい。例えば、姉妹都市の中国にちなんで、西薩町の空いている土地に万里の長城のレプリカ等を作り、ハウステンボス並みに串木野(川西薩)に中国のミニチュアを作る。冠岳園が1つだけでは物足りない。人が足を運ばない。新港にこれを作ると、長崎ハウステンボス～川西薩のミニチュア中国(仮称)のツアーなどを組め人が呼べる。
2-35	串木野市	32	男	中国との交流があるのなら、横浜や長崎みたいに中華街を造る。国道沿いの活気を盛り上げる。もっと若者が集まる街づくりが必要 大学の設立

2-36	串木野市	49	男	外港があるのでコンテナ船が入港出来る様な施設を作り、活気のあるまち作りをしてほしい。
2-40	串木野市	33	男	若い人達が働ける職場提供(企業誘致)をすることにより、活気もあふれてくるのではないかと。
2-46	串木野市	44	女	今から元気なお年寄りが多くなると思いますので、健康について色々な勉強ができる機会が身近にあればいいと思います。若い人達が安心して働ける場所があればいいと思います。
2-57	串木野市	42	女	高齢者には扶助費等が多く使われているように感じるが、もっと幼児や子供達にも手厚い施策が必要だと思う。若い親が働きやすい環境を作って欲しい。(保育園、幼稚園、託児所、子ども病院)市内のすみずみまで行政の手が行き届くように声が届くように、市役所が身近でなければならない。その為には、支所や出張所等を均等に置いて欲しい。各種の届や申請(住民が頻りに利用するもの)を出す役所が住居地から近い所になければいけない。商店街をもっと魅力のある通りにして、車を使わなくても出かけられ、帰りの心配もあまり必要ないようバス等の運行も定期的に便を増やして欲しい。
2-61	串木野市	39	男	工業団地を中心とする産業振興
2-68	串木野市	54	男	産業の活性化、特に就業人口の多い第一次産業の施策推進
2-69	串木野市	57	男	総合運動公園を整備し、市民の健康増進と憩いの場所づくり 若人が定着出来る働く場所確保のため企業誘致
2-77	串木野市	41	女	幸せを実感できるまち、障害を問わず、人間誰もが安心して生活できるまち、どこの学校へも入学できるまち ドリームキャンピ-付近の活気が減ってきているので、商工会議所の方々が中心になって、活気が再びおこる中心街になると魅力もでてくる。串木野駅構内を新しくかえる。待合所も含めて。
2-85	串木野市	54	男	市域が広範囲になるため、新しい市のまちづくりには、各地域の役割が重要ではないか、かつて「西薩地域開発協議会」が提唱した「しま・みなど・おか」定住圏構想の考え方は、新市(川西薩地区)のまちづくりにも通ずるものがあると思う。各地区それぞれの特性を生かした「まちづくり」が必要ではないか。・しまー水産業・観光の振興(沿岸漁業、栽培漁業、体験漁業等)・みなどー港の活用、工業、商業の振興、水産業の振興(中国・東南アジアとの貿易、企業誘致、商店街活性化、マグロ母港基地化、沿岸漁業の振興等)・おかー農業・観光の振興(特産品の振興、観光農園、温泉等) 教育、福祉、環境政策は一体的に整備を進める。
2-86	串木野市	54	女	串木野で申しますと、もっと観光に力を注いでほしいということです。冠岳神社一帯もなかなか地域の方もどうなるだろうかと不安の声を耳にします。多くの方に、観光に来ていただけるよう、そして、活気の町づくりをお願いします。
2-88	串木野市	44	男	全国の活気あるまち魅力あるまちは、どこも行政主導型ではなく、民間の力が盛り上がり実現できているようなので商店街の活気を盛り上げるため、商店主の若い世代の研修等への補助を積極的に実施した方がよい。
2-89	串木野市	46	男	商店街の活性化又は商業地の新しい拠点作り 大きな企業の誘致(雇用対策)
2-90	串木野市	53	男	1. 便利で生活しやすい住宅団地の整備 2. 定年後に出郷者が帰ってきたくような施策の充実(住宅・農地の活用、交通の整備、職場の確保) 3. 世代を越えて集えるような複合施設の整備(図書館、視聴覚センター、軽スポーツの施設等)
2-93	串木野市		女	もちろん老人も大切ですが、若者が都会に出なくてもよいように多に働く場所があればよい。そしたら、子供も増えてにぎやかになるのでは...
2-95	串木野市	46	女	働く場所があると、子供や孫などと離れて暮らさなくてもよいので、難しいですが、企業の誘致が必要だと思います。
2-96	串木野市	41	女	天がい周辺がさびしい 駅の周辺がさびしい
2-97	串木野市	41	女	県外から多くの人を訪れ自然とふれあうことのできる観光施設の設備
2-101	串木野市	32	男	休日に市外に出なくてもすむように、ゆっくり1日過ごせる公園や体育館などの運動施設等の充実や、大型店の誘致をする。
2-104	串木野市	44	男	子供、大人とも遊べる大型公園の整備(加世田海浜公園の様な大きなもの)合併に伴う大規模な祭り、物産展の開催 下水道の普及促進、側溝の整備等生活環境面の整備促進を図る。
2-105	串木野市	38	男	新市誕生後は、中心市以外の市町村を充実させ観光地としてお金が落ちる市にしたらいと思う。

2-106	串木野市	50	男	合併したら市町村住民が交流、行末がないと住民の活気は出てこないのでは、そのために各地区(市町村)に独自の物施設あるいは、イベント等を行うようにする。各地区での特性を生かす。その為にそれぞれの助成を行う。例えば、串木野では港を生かした魚料理を食べさせる店を店主の方をお願いする。その店舗改修費の資金助成として資金借入の利子がある一定助成する。
2-110	串木野市	55	男	串木野市では「マグロと金のまち」として栄えてきた。現状では、商店街の空洞化が進むのではないかと危惧されるので、商店街の活性化、マグロの消費拡大を図る、又沿岸漁業と観光漁業と結びつけ、市外からの誘客に努める。
2-113	串木野市	39	男	商店街振興対策...個人店舗の集合ビル化等による顧客サービスの向上と大店舗への対抗 雇用対策...西薩中核工業団地への更なる企業誘致
2-119	串木野市	53	男	若者が定住するような施策を積極的に行っていくことが大切で、企業の誘致、地域の地場産業への育成など就業機会の増大を図る。
2-120	串木野市	30	男	地元に残れるような職場の確保
2-121	串木野市	51	男	新しい者を売り出す方式よりも古き良き物を紹介しながらそれらにまつわるイベントや町づくりが今後は必要なのでは。外国では古城や古い街並が大事に保存されそれを観光資源にしている。現在のような使い捨ての時代はそろそろ終わりにした方が良いと思う。
2-129	串木野市	27	男	集客ができる大型総合商業施設
2-133	串木野市	49	男	冠岳の自然と歴史を生かした観光 若者が夢と希望を持てる町づくり
2-140	串木野市	33	男	働く場所の新規創設
3-4	樋脇町	54	男	樋脇地域は現合併計画の中でも田畑が多いが減反などで荒地も増えている。しかしこの地の気候などにあった産物は必ずあると思う。主食の米やできれば毎日あった方が健康的に良い産物の創出をし、農業の確立をしてほしい。(この町で消費するだけでも良い)
3-6	樋脇町	24	男	これから超高齢化社会の中で生きがいをもてる場が必要になる。各地域で成功しているイベント、行事を積極的に取り入れてみるのもいいと思われる。また、どの地域にも住民の満足できる福祉サービスを行えるように努力することも大事であろう。
3-11	樋脇町	26	男	主に女性客が来るゆったりとした風情ある環境づくり
3-12	樋脇町	34	男	各市町村の特徴、特色を生かしていかなければならない。丸山ブランドを使用した大学、社会人の合宿を誘致する。そうすることにより市比野温泉への観光客の増大につながるのでは。
3-13	樋脇町	46	男	老若男女が仲良く元気で自然と調和した農業、商業のまちを目指すことが大切で農産物の自給自足が出来、高齢者も活躍出来る野菜などを栽培してそれらを消費者に売ったら良い。(温泉旅館などでの販売) 温泉利用者には利用回数に応じて地場産のものを贈呈するサービスもあっていいと思う。
3-20	樋脇町	25	男	イベントがたくさんあるまち
3-21	樋脇町	28	男	若者・高齢者を問わず人がたくさん集まる施設を作る(例:温泉を利用したレジャー施設等)
3-24	樋脇町	31	男	魅力ある施設等は必要だと思いますが、住み良い町づくり(公共交通機関の充実、名物になるイベント等の開催)に力を入れた方が良くと思います。当町の温泉は観光(宿泊)を中心に展開していますが、滞在型へ移行できる宿泊施設への転換が必要ではないでしょうか。
3-25	樋脇町	36	男	観光を全国的にPRする。(市比野温泉等)
3-30	樋脇町	57	女	温泉サミットを契機として宣言活動を大にして温泉客の誘致をし、地域活性化につなげる
3-33	樋脇町	30	女	温泉などを中心としたイベント
3-36	樋脇町	56	男	観光と農業をリンクさせた振興策の確立 各般にわたり若きリーダーの育つ環境作り
3-42	樋脇町	27	男	若者が集まるようなレジャー施設の充実

3-53	樋脇町	40	男	住民ひとりひとりが新市に誇りを持ち、不満のない新市。すなわち総合的であるが、産業に活力があり、収入が安定している。児童、高齢者等が安心して暮らせ、住環境が整っていることで、いずれが欠けても不満が出てくる。全てが大切。
3-58	樋脇町	22	女	「活気あるまち」にしていくためには多くの人々が交流することが大切だと思う。子供から大人まで年齢を問わずに利用できる施設やイベント会場、大型デパート等、人と交流出来る場所や空間が必要では？
3-61	樋脇町	49	男	「魅力あるまち」「活気あるまち」には必ず若年層が集まり定着しないとまず不可能である。そのためには商店街の活性化、娯楽施設、公園等の整備等ハード面の充実を図っていくことも大切ではなかろうか。若者が定着すれば、お年寄りも子供が近くにいる等精神的に安定した状態でいられる。
3-66	樋脇町	46	男	川内に新幹線が開通するため、豊富な温泉資源を活用して観光施設や温泉街の町並みの整備を行い、入り込み客の増大を図り、魅力あるまちづくりを進める必要がある。
3-68	樋脇町	49	男	新卒者が即就職できる地場産業の育成と優良企業誘致の促進
3-75	樋脇町	58	男	若い世代が多く働く企業の進出、大型店等が集団的い並ぶような商店づくり
3-84	樋脇町	20	女	温泉を観光資源として活用し、年間を通じて人が来るようにする。(施設をつくる) 高齢者、子供のふれあいを大切にする(声かけをする。子供が高齢者の家を訪問する。高齢者が子供に昔の話を聞かせたり、遊びを教えたりする) 鹿児島ブランドに指定されるような農作物(レイシなど)を作る農家を増やす。また、山村留学などで若者を集め、次代の農家を育成する。(移り住んでもらう)
4-9	入来町	46	男	何をするにしても、住民本位の施策でなければ飽きられてしまい、今までと何も変わらない。物に対する豊かさから心の豊かさへ転換する必要もある。(ハード整備からソフト面の充実へ)但し、住民に直接関係する生活道路、下水道整備は必要不可欠な面であり、住んでみて心地よい地域が創造できるのではと思う。雇用の場確保の意味から経済特別区の設置に努力する。
5-1	東郷町	27	女	公営住宅はありますが、民間の賃貸住宅が少ないのは東郷町に住みたくても住めない人を増加させ、若い人達とその近辺に住まざるを得ないことに結びつくと思います。企業の誘致を含めて考えてもらえばと思います。
6-1	祁答院町	44	男	若者が定住できるための職場の確保。周辺部や交通弱者にも気配りのあるキメ細かい行政サービス。農林水産業と商工業の調和のとれた振興方策
6-5	祁答院町	39	男	都市部と農山漁村部の均衡ある発展及び交流が肝心。産業、商工業、農漁業の一体となったまちづくりを進める。対策として都市部と郡部を結ぶ交通体系の整備、地域通貨の導入、地場産業販売センターの建設等。また民間団体、ボランティア団体、NPO法人等と連携した街づくり及びこれらの人材育成も必要と考える。
6-7	祁答院町	51	男	工業の地方への移転
6-8	祁答院町	47	男	安心して住める環境づくりと健康につながる食物生産の育成
6-12	祁答院町	46	男	大人から子供まで遊べる遊園地等を作る。各市町村の施設及び名所等の一覧表を作成し観光コースを設定する。
6-15	祁答院町	49	男	本町の商店街の現状は少子高齢化に伴い、活気のある商店は半数で、特に官公庁の取引のある商店に限っているとと言っても過言ではない。更に本町は、他町に無いものがたくさんあります。【本屋】【薬屋】【飲み屋】【花屋】【写真屋】【カラオケ】【喫茶店】【パチンコ屋】【入院施設病棟】等。合併した場合は、上記のような商店ができない以上活気は無いような気がします。管内を循環するバス等の運行手段の整備がまず先決である。幸せを実感できる町として、病気、ケガの入院等は、すべて他町へ入院している。このため合併後近く入院施設の整備が急務である。
6-19	祁答院町	60	男	自然と文化溢れる学園都市づくり。既にある純心大学を活かして、農業や林業、水産業等を学べる産業大学、「原発」をプラスイメージに変える研究施設等を誘致する(新幹線や高速道路等交通アクセスの充実を活用して) 新市の中心部一極集中型のまちではなく、旧町村の特色をのこしてバランスのとれた発展を。
7-15	里村	32	男	人があつまるまち 新産業開発、育成、居住環境の整備
8-1	上甕村	59	男	地域の活性化は人口がバロメーターになると思います。新幹線の開通や西回り自動車道等で将来に大きな期待がもてる。集客力のある地域イベントを実施して、街に活気を与えていただきたい。

8-3	上甌村	62	男	「県民自然レクリエーション村」の有効的活用、維持管理体制(周年活用) 地域特産品(魚介類、山菜、草木染)の開発、育成支援策 自然エネルギーの導入(風力、太陽熱) 福祉対策、環境整備、水産業の振興、企業導入による雇用等活力のある地域づくり
8-8	上甌村	47	男	活気のある町 - 観光に力を入れ特産品を研究し、町を活性化させる。
8-12	上甌村	46	男	宿泊施設の整備 魚介類を豊富に使った料理等を提供できる施設整備
8-13	上甌村	53	男	島は漁業振興が一番だと思います。恵まれた自然や深層海水を利用した魚介類の養殖等を積極的に行い、また作り育てる漁業として真鯛、ヒラメ、カサゴ等の稚魚の放流を積極的に行い漁獲量の向上が図られるようにしてほしい。
8-14	上甌村	47	男	滞在施設(旅館、ホテル、温泉)の整備 水産業を活かした観光開発
8-15	上甌村	47	男	観光開発及び施設整備を図る
8-16	上甌村	32	男	福祉施策の充実(高齢化が進む中高齢者に対する各種施策等) 地場産業の育成 若者定着(1ターン、Uターン)等若者が定着するような施策 医療施策の充実(小児科等) 保育所等施設等の充実(女性の社会進出にはかかせない)
8-18	上甌村	43	男	鹿児島市への流出を防ぐため、交通基盤、産業集積、医療福祉体制の充実を図る。
11-2	川内地区消 防組合	39	男	川内川を利用して夏場に各種イベント等が実施され寺山には寺山公園があるが港方面の有効な活用方法があるのではないかと考える。例えば唐浜海水浴場と合わせた大型の公園遊園地などがあれば多くの人が集まるのではないか
11-3	川内地区消 防組合	36	男	市民が魅力あると思う町だけでは発展しない。市外の人魅力あるまちと思うようなまちにしなければならない。そのためには観光を中心とした産業の取り組みによる人の動きのあるまちづくりが重要ではないか
11-5	川内地区消 防組合	26	男	大企業を持ってくる 駅、周辺の活性化
11-6	川内地区消 防組合	43	男	観光地開発、駅を中心とした定期観光バスの運行 遊覧船による川内川下りから離島巡り
11-7	川内地区消 防組合	45	男	駅を介して多数の人が出入り交通の利便性を高め、人々の流通が多くなれば活気も必ず出てくると思います。そのために例えば、イベントコンサート、公演など若年層から幅広い年齢層を収容できる文化ホールなどの建設及び駅周辺や公共施設付近の駐車スペースの拡大などを。また、観光名所例えば寺山公園をレジャーランドあるいは、川内牛や名産品を売り出す、ファームランド等の計画もどうでしょうか。
11-8	川内地区消 防組合	39	男	8月16日の川内川花火大会のように県内外各地から若者が大勢集まるイベントを数多く実施したらどうか
11-10	川内地区消 防組合	35	男	東シナ海に面するシナなので、テーマパークランドとして海浜公園などの整備、甌島への日帰りイベントなどを計画していき観光に力を入れていけば、活性化していくのでは？ その他、生活面で道路の整備、国分市・出水市などは素晴らしい
11-13	川内地区消 防組合	24	男	大きなテーマパークをつくる 道路の整備。下水処理施設を整備し、水質の向上に努める

11-17	川内地区消防組合	38	男	公共施設等を利用したイベントの増加(歌手, タレント等呼び, 歌謡曲ショー, 後援会等を開催し, 内面的にも充実できる日が増えるといいと思う) 郷土愛の向上を計るため, 郷土芸能等の復活など(今, 伝えなければ完全に忘れ去られてしまうものがあるのではないだろうか。)
11-19	川内地区消防組合			自然との共存 スポーツ振興 福祉のまちづくり 人口流出の歯止め対策(雇用創出, 観光行政促進) 離島振興策の拡大
11-22	川内地区消防組合	45	男	人が集う街として大規模なイベント及びスポーツ関連団体の誘致, ドラマ, 映画等(例えば「寅さん」「北の国から」等継続的に人を呼び寄せる様なドラマ)の勧誘や暴力団, 右翼関係者又は使役にのみを追求するような人達を完全に隔離・排除(舌代規模名ギャンブル施設・興業の施設誘致など。また子どもたちが集まるばかりでなく大人も十分楽しめる様な遊園地の建設など既成概念にとらわれない大胆な発展でまちづくりを考えていかなければならないと思います。
11-26	川内地区消防組合	27	男	商店街に活気が今以上に出れば, まちが盛り上がると思います。
11-27	川内地区消防組合	23	男	商店街の時間の延長と建物の整備・街灯の整備。 県下でも自慢できるようなテーマパークの開設
11-34	川内地区消防組合	41	男	川内市というよりも, 鹿児島県に総合レジャーランド又は, テーマパークと呼ぶにふさわしい施設が見あたりません。川内は海, 山, 川, と大自然の宝庫でもあり, これを活用して子どもからお年寄りまで楽しく遊べるような施設の建設を望みます 川内には県内に誇れる特産品, 料理がありません。何か1つ川内に行ったらあれを食べよう, あれを食べに川内に行こうと呼ばれるような品物を公募して川内の特産品として売り出してみてもどうでしょうか?
11-43	川内地区消防組合	52	男	県内外からの来客があり“川内を案内しようか”ということになるが, これといって案内する所が見あたらない。大型の公園・娯楽施設(テーマパーク等)を建設してほしい。また, 企業の誘致をすれば若者又, 人口が増加し全体が活気づくのでは?
11-44	川内地区消防組合	25	男	「活気あるまち」...市民誰でもが参加できる大規模なフリーマーケットを開催したらいいと思います。
11-45	川内地区消防組合	38	男	娯楽施設の不足。例えば 5000 人収容できるホール, 映画館, テナント等と一緒にした施設を建設し, 交通手段も高速道路・新幹線も開通することから集客能力も格段よくなっている ので人が集まりやすいと思う。また, 熊本県の荒尾市にある遊園地や千葉県浦安市にあるディズニーランドみたいな施設の誘致など。
11-48	川内地区消防組合	25	男	若者が働く場所が少ないので企業の誘致。
11-50	川内地区消防組合	40歳代	男	新幹線が開通しても川内市は通過のまちになりそうなもので川内駅での乗降客を増やすかを考えてもらいたい。駅前の大規模な再開発が必要と思われる。今のような「ちまちま」した開発では同じことだと思う。これには, 地域の方々の協力が不可欠であり, 新しい市となる前に考えてもらいたい。
11-57	川内地区消防組合	42	男	自然と人が集まってくるようなレジャー施設等の整備
11-61	川内地区消防組合	55	男	不景気で失業率が高く, 若者も働く職場がないのが現状である。大型の企業を誘致し, 地元雇用を優先し若者の流出を防げば活気が出てくる。
11-62	川内地区消防組合	55	男	駅周辺の開発が進む中, 大型温泉施設の誘致(建設)が望まれている。
11-68	川内地区消防組合	48	男	先ず, 第一に若者が集う施設(遊技場, ショッピング)等の設置
11-73	川内地区消防組合	43	男	人の集まってこられる物を作る遊園地など海, 河川, 山を使った大型のもので家族で遊べるようなもの, 規模も中途半端なものではなく, 九州あるいは全国規模でここでしか無いようなもの
11-74	川内地区消防組合	38	男	魅力ある町とは, やはり若い男女, 子供たちが休日, 週末をそこで遊ぶ, 過ごす施設を作ることが必要ではないか。

11-80	川内地区消防組合	36	男	2市4町1村については、それぞれ小泉種の違う温泉があるので温泉ブームの今、曜日指定でも良いので周回バス等で温泉の売り込みをする。海の幸は(串木野、甕島の物産)、川の幸、山の幸をそれぞれ掘り起こし、九州新幹線のワゴンや駅等でPRする。温泉とグルメ(海、山、川の幸)を一括してPRすべきだ。
11-84	川内地区消防組合	19	男	全国でも有名なものを作る 新幹線が通るのでそれを活かす
11-87	川内地区消防組合	22	男	噴水イルミネーション等がある公園を作る。大画面の情報等がながれている、テレビみたいなのを設置する。海水浴場などの活性化を図る
11-88	川内地区消防組合	23	男	温泉・旅館を整備し、ここでしか味わえない目玉特産品をつかって、観光化すれば、人が集まるので活気あるまちになっていくのでは?と思います。
11-90	川内地区消防組合	33	男	アミューズメントパークの立地等たくさんお人が集まる場所があったらよいのでは
11-93	川内地区消防組合	40	男	川内川を整備し、競艇場を作り、川内川へ人が集まってくる施設がほしい
12-3	西薩衛生処理組合	38	男	地方からも人が集まるようなテーマパークがあったら!
12-8	西薩衛生処理組合	50	男	「魅力あるまち」と「活気あるまち」イコール「若者のまち」のイメージが有り、「幸せを実感できるまち」イコール「福祉のまち」の感があります。新市となると広域となり、益々難しくなる面もあると思うが、まず「若者が定住出来る環境づくり」が大切だと思う。(この不況下での企業進出は望めないで、新市内にある企業の事業拡大=雇用拡大=若者の定住)
12-10	西薩衛生処理組合	43	男	不況で職がない状況ですので、企業など誘致しもっと多くの雇用の場を提供してもらいたい。
12-11	西薩衛生処理組合	35	男	昔のように映画館を作ったり、霧島のみやまコンセールみたいな音楽専用の施設等他市にはないものを作ったらよいかと思う。原子力発電所は、立地給付金が入ってくるが、できれば中止し、他の収入を増やすものを住民よりアンケートを取り進めてほしい。
13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	住環境の整備(県営・市営住宅の増改築)若人の定住できる職場の開発。地場産業の復活、助成、育成。
17-2	甕島衛生管理組合	42	男	若者層が地元で働ける環境を作ってほしい。若者の都会への流出が地方での少子化・高齢化を進める要因の一つになっている事を考えた時、地元で就労者が安心して働ける企業が増える事を希望する。しいては、都会からのUターンを促し、活気のあるまちになり、先述の問題も解決につながる一歩ではないかと思う。

3	個別応募:川内市	26	男	<p>「国際化人材の公的育成支援」今「市」として考えるべきはこれらをターゲットにした「箱物」整備ではなく、これらを受け入れていけるだけの「国際力」「語学力」「接客力」をもつ人的・質的観光インフラを整備していくことではあるまいか。それは、つまりこういうことである。・日本語、中国語(北京語)、韓国語、英語を併記した道路案内標識の設置・主なホテル、旅館、小売店接客員向けの語学研修体系の整備(教育補助制度を含む)・鹿児島純心女子大学、川内純心女子高校英語科など特定のターゲットを絞った国際人材の特別育成と地場へのその内実の還元システムの整備・海外観光客向け公式統一パンフレットの作成と、その海外旅行者向けの配布・「市」としての海外学生交流の促進・接客サービスを行う業者に対して接客力向上を図らせるための「市」の認定制度と認定業者向け補助制度の創設・「市」ホームページ等での、中国語(北京語)、韓国語、英語対応と他言語対応可能施設の積極的な紹介</p> <p>「産業の「智」力蓄積施策の創設」プラント開発事業 貿易事業 工業水利事業の3つを挙げておく。と に関してはその手法を1個の「システム」として研究開発することを企業に奨励することで、コンサルテーション上での商品力を高め、国内、海外を問わず環境意識の高まる将来に向けての強力な「智」的財産(かしこさを伴う「知」)を地域のものにすることができると考えられる。(九州電力の技術力と資金力は、原発問題を絡めて最大限に活用することが重要であろう。) に関しては、主に串木野地区の水産貿易業者が持つ、海外貿易事務能力と、鹿児島純心女子大、川内純心女子高校、れいめい高校などの育成する潜在的な「英語力」人材とのコラボレーションの下で、よりアジア世界に目を向けた企業貿易活動の促進を行うことにある。工業港として整備中の川内港及び旅客港、工業港の両面の性格を持つ串木野新港のこれまでの資産投資を将来的に十二分に活用していくためには、政策的な貿易事業の推進がより一層必要になると考えられる。これらの事業創出活動の結果生まれる副次的産業、関連業、下請け業界の産業連鎖の規模は、将来的成長性を鑑みれば、どれも有望な資産として地域に根付いていくことが予想される。よく言われることであるが、人件費高騰の結果、競争力を失った工業立国日本あって、数少ない今後の有望産業は知的産業(環境・バイオ・パテント等)である。その中でも、積極的な「市」の公的支援のもとで、現在の「市」内企業を発展的に育成していくには、上記3項目の実施が近道であると思われる。</p>
---	----------	----	---	---

産業経済(テーマ :新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	海に開かれた(川内港、串木野港、甕島の港など)、温泉や自然景観(川内川、冠岳、なまこ池などの甕島の景観)を有する観光を活かした、歴史(薩摩国分寺跡、入来の町並み、etc)と文化(綱引き、祭りなど)を大切に福祉都市(高齢者にやさしいまち)
1-25	川内市	40	男	工業、商業、農業、漁業がそれぞれに交流し伸びていく町づくりが望ましい。
1-42	川内市	28	男	勇ましさ(綱引き)、海(串木野港 川内港)、進取気風、川(川内川)、大自然(甕島)、原発、地下備、農業、(キンカン、フルーツ)、水産業、マグロ。人にやさしいまち 市。海川山の自然を活用した観光産業の創出 港湾等を活かした産業振興施策の抜本的見直し
1-47	川内市	43	男	海、山、川、温泉など今あるものを長所としてイメージアップを図ってほしい。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	自然(海、山、川)、産業(農林水産、商工業)、観光(温泉、特産物)が豊富で交通機関や居住性の便利な町
1-102	川内市	36	男	中国・韓国・東南アジアへの海路を用いた物流の玄関口。甕島の自然を生かし、長期滞在型観光地を構築
2-20	串木野市	58	男	優位的な地理条件から、串木野新港の機能を発揮、国際大型流通港としての都市づくり。海、山の資源を活用する事業の促進
2-32	串木野市	44	男	東シナ海に面しているの、港湾を利用した産業を進めていくこと。
2-53	串木野市	52	男	観光資源を秘めた秘境甕島を最大限にPRし、「しま、みなと、おか、温泉」を生かしたキャッチフレーズを目指して頂きたい。
2-86	串木野市	54	女	そのまちに応じた例えば串木野で言えば港や冠岳の観光を生かして是非発展することを願っています。
2-97	串木野市	41	女	老朽化した駅、また駅を拡大しテーマパークなど娯楽施設の建設
2-98	串木野市	38	女	他の町の人達がちょっとコーヒーでも飲みに来るようなCafeとか、人が寄ってくるお店を増やして活気のある市にしてほしい。
2-121	串木野市	51	男	海、山、それらの資源 それらを活用する事業
2-140	串木野市	33	男	各地域の天然資源を更に生かす(温泉、海洋資源など)

3-30	樋脇町	57	女	串木野漁港のマグロ基地化を促進し、若者が働く場所の確保、観光、海の幸、山の幸の開発
3-75	樋脇町	58	男	市比野温泉の名を残した温泉イベント等最大に活用し、子供らが1日中遊べる様なパソコンゲーム館(無料)とを一体化した施設とした家庭的なまちづくり
6-5	祁答院町	39	男	海、山、川、湖など自然に恵まれた地域性を活かし、食糧や観光の発信基地としての位置づけ 都市機能の充実を図り、郊外では住宅地の整備を進め、地産地消の体系を構築し、農漁業とバランスのとれたまちづくり
6-7	祁答院町	51	男	海、湖、温泉、森を生かした観光ゾーンの整備
8-8	上甕村	47	男	産業の発展
9-2	下甕村	52	男	CTから農漁業に至るまでバランスのとれた産業構造を理想とする。
11-10	川内地区消防組合	35	男	水の町をやめて、「魚の町」へ変更

産業経済(テーマ : その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-8	川内市	54	男	子供に歴史を残すため、それぞれの歴史的建造物を残し、お祭りの開催日を調整し、毎月どこかで祭りがあるようにする。また、観光シーズンに祭りを集中させて人を寄せる。
1-12	川内市	29	男	工業・商業の発展と充実
1-20	川内市	39	男	各地域を結ぶ交通網の整備(現時点の各市町村の道路)をし、また、河川、海を利用した観光的なもので人を集められる様なスポット(観光地)等を作ってもらいたい。例(川内港 串木野港の遊覧船)
1-29	川内市	55	男	串木野市を含め、東シナ海に面した新市になるので港を活かしたい。具体的には、川内港は工業港と位置づけ、川内港と世界のバブ港である「釜山港」、「上海港」、「常熟港」との定期航路化を図る。荷物については、中国から石材、穀物、野菜などを輸入し、川内港からは甕島の海洋深層水、中古機械、自動車などを輸出する。一方、串木野港は商業港と位置づけ、海づりなどの観光化した甕島と長崎港とを便数の多い航路として、九州管内の観光客を運ぶ。また、高速コースとして、新幹線川内駅と渡唐口と甕島(里)を時速約80kmで結ぶ航路をつくる。
1-30	川内市	50	男	合併記念歩こう会の実施 合併想定市町村内各所には、歴史的建造物など文化遺産が存在する。合併後は、合併を記念して、各自治体の歴史探訪と体力づくりを目的としたルートは、短距離から長距離まで各種の組み合わせが可能と考えられます。ポイントごとには、地域の農特産物を飾り或いは試食させることもかなりの宣伝効果が得られるでしょう。また、甕島ルートは一部船を使うことで新たな歩こう会になると思われます。
1-46	川内市	52	男	子供が遊べる大型のレジャー施設が欲しい。民間活力で誘致できないでしょうか。
1-55	川内市	28	女	新幹線停車駅と観光地との動線整備 甕島へのつり客を温泉へ、ゴルフ客を温泉へなど。綱引き、花火大会見物客がそのまま泊まっていけるような「安い料金」設定 うまい料理、ゆったり温泉、あったか歓迎、市民総出で取り組んでいきたい。駅での歓迎ぶりが新市のイメージを決定すると思う。駅にボランティアによる歓迎隊を配置してはどうか。品物の陳列だけではダメ。市内各所の観光案内、特産物紹介など「あったか歓迎のまち」を目指していきたい。
1-60	川内市	42	男	市比野温泉のイメージ転換(美容・健康志向)のため、中心施設として厚生労働省認定のケアハウスを整備。エステサロンと提携し、運営を任せる。また、甕島におけるタラソテラピー施設(海や海水の持つ力を利用し、人間の身体の機能を高めようと生まれた海洋療法。当面、こしきしま荘などの既存施設の改修で対応。将来は民間施設誘致)と連携し、健康志向の都会人(新幹線戦線開業をにらみ、北九州や京阪神方面から)を誘致する。

1-61	川内市	42	男	「美味・安全な食のまち」を具体化するための施策がほしい。・学校給食の食材市内調達(経費増は市が負担。地産地消の一環)・市内食材による「料理の鉄人」コンクール(優勝者については、県外有名店における研修、市街地における店舗開設等市が支援、商業振興、市街地活性化にもつながる。)・「市美味安全の店」認定制度の創設(市内食材の調達率の高い食堂や居酒屋等について、観光協会等が認定。交流人口等にも寄与。・大規模な食の祭典の開催・マグロ冷凍施設及びフィッシャーマンズ・ワーフの整備等々
1-66	川内市	58	男	基本的には、若者が定着できるまちづくり。若い人を雇う企業誘致育成 市民が楽しめる街(娯楽施設・公園・スポーツ施設・大型店舗等) 子供のために 過疎校の統合。地域と一体となった子育て、親子学習 最後に治安のよいまち、思いやりのある人間が育つまちになってほしい。
1-81	川内市	29	男	若い人を定着させる為、企業誘致をしながら市民が楽しめるイベント(運動会、魚釣り大会、レガタ等)盛り上げ、地域と一体となり子供達の土曜日は休みの為、学校側から色々な校区行事に参加要請し、つながりをもたせる。
1-101	川内市	58	男	合併基金の創設 合併すると特別職、議員、職員数が減少するので、その分をすべて基金として積み立てる。目標は10年で100億円とし、企業又は研究所を誘致する。社員1000人規模の企業を2社誘致し、1社当たり50億円を補助する。(合併して5年1社、10年目2社を目標とする)立地の候補地は、串木野市西薩団地、樋脇町とする。
1-104	川内市	41	男	新市の豊かな自然、文化資源を活かした観光ルートの開発
2-3	串木野市	40	男	全国的にも有名になるくらい大型リゾート施設を造ってほしい。串木野、川薩地域は、素晴らしい自然に恵まれているのに、それを全く活用できていない。子供から大人まで楽しんでゆっくりできる施設を造れば、多くの人がかき街も活性化すると思う。
2-4	串木野市	29	男	従来の観光施設は魅力があまりないと思う。人が集まることできる、行ってみたいと思える施設を造ってほしい。思い切ってキャナルシティクラスのものを作るとか...
2-5	串木野市	47	男	山や川など豊かな自然を大切に、伝統的な文化や芸能を残し、災害、公害や犯罪が少なく、安心して暮らせ、また企業誘致をし、若者が集まってきて、活気あるまちづくりをしてほしい。子供が遊べる大型レジャー施設を整備し、さらに素晴らしい自然(山、海)を生かした観光ルートを整備し県内外から人を寄せる。
2-10	串木野市	50代	男	原発に依存しない電力事業の開発促進(3号機不用)山、川、海を活用し、自然あふれる心身ともに健康な町づくりに努めてもらいたい。構成市町村の観光資源を掘り起こし、いろいろなパターン(温泉めぐり、ハイキングコース、史跡めぐりetc)で一日中家族連れで過ごせるようなコースを提示し、長崎航路、中国航路等と合わせ、県内はもとより県外、国外の観光客の誘致につとめる。環境に害のない企業誘致を進める。
2-13	串木野市	43	男	県外からも参加できるようなスポーツビッグイベント等(スポーツ施設の建設急務が必要)規模の大きい遊園地
2-16	串木野市	34	男	大型ショッピングセンター(福岡マリノアシティ・沖縄北谷アメリカピレッジ等)観覧車等を設け集客効果を増大させる。企業の誘致(働く場を多くする) 人口増
2-17	串木野市	28	男	全国に対して知名度が高く、アミューズメントパーク等の充実した街にして欲しい。
2-40	串木野市	33	男	現在県内においても企業が少ないため、若年者の県外流出が多いのを防ぐためにも、企業誘致が必要であると思う。
2-47	串木野市	43	女	企業誘致 子供達のために働く場所の確保
2-55	串木野市	51	男	国に於いても、地域活性化の施策として観光交流を通じた新たな産業政策を推進することになり観光振興が図られるとして、提言がなされている。新市のまちづくりに於いてもこの主旨を尊重し、それぞれの地域の交流人口の拡大により観光消費が伸び、地域産業生産が増加し、雇用増につながり、結果として経済効果につながると確信しています。現在の9市町村が自分の住む地域の自然、歴史、文化伝承を見直すことにより、従来観光から観光交流へと進み、それぞれの役割価値を見直して新政策の柱とすることを希望したい。
2-69	串木野市	57	男	歴史と自然の里づくりとして整備を進めている花川一帯、西岳、串木野ダム周辺の完成を急ぎ、日本中から観光や視察者が訪れ、地域が活性化することを望む。
2-84	串木野市	26	女	商店街を活性化してほしい。
2-93	串木野市		女	大きな遊園地があったらいいな(ディズニーワールド) フロリダのディズニーワールドに4日位行った時の大勢の人は、どこから来たのか毎日毎日すごい人でした。世界で、名

				前は(新市)決まっていけど有名な新市になってほしい!
2-97	串木野市	41	女	長引く不況で若者の就職がなく、働きたくても働けない状況なので、一刻も早く安心して働ける企業の誘致
2-116	串木野市	37	男	人口減問題 企業の誘致
2-129	串木野市	27	男	若い人達の集まる街がいい 地元で就職できる大企業 24時間体制の総合病院 バリアフリーの街
2-134	串木野市	28	男	何か人が多く集まるような観光スポット的なものもあればいいなと思う。
3-38	樋脇町	31	男	市比野温泉の新興だけでなく、役場周辺の地域も集客できる施設の建設も必要なのは。
3-53	樋脇町	40	男	市街地や特殊性のある地域は外に向けて情報発信、入り込みや交流の促進 産業地域は安定向上をめざした施策 住民の居住環境、福祉、教育は充実
3-57	樋脇町	45	男	中国との経済活動の推進を図り、川西薩地区の産業の活性化を図る。(中国にビジネスチャンスはおおいにあると思う)
3-65	樋脇町	59	男	子供から大人まで楽しく暮らせる魅力ある新都市になってほしい。働き盛りの若者が安心して働くことの出来る企業誘致、乳幼児の保育施設の整備から高齢者が安心出来る交流施設、高齢者向けホーム施設及び公営による医療施設を各地域に整備を期待したい。旧市町村の地域差別解消のために道路網の整備を図り、交流が図られるような政策を期待したい。
4-1	入来町	55	男	各市町村の歴史を大切にしてほしい。遺跡・遺物が各市町村にそれぞれ残っています。保存と観光資源としての活用・整備すると共に、全国への情報発信をしてほしい。
5-7	東郷町	48	男	広域になるので各地方が色々な面で取り残される事がないまちづくり。都市部に事業等が集中することなく、地方も今までと同じように配慮してほしい。各地方に市の目玉となるものを配慮して、各地に活気を感じるまちづくり 子供達も一市になって手を取り、仲間となったまちづくり こども交流(イベント) 各地の特産品等の交流
6-3	祁答院町	48	男	都市部と農村漁村部の調和のとれた都市づくり ボランティア活動等が盛んで、こんな活動を通じ若者を社会性のある人づくりをしてほしい。高齢者の生き甲斐づくり政策 未婚者が多いので結婚対策 農地の荒廃対策 農業後継者対策(20年後を考えると心配である) 高齢化対策として福祉施設・設備の充実
6-7	祁答院町	51	男	農業、商業の活性化を図り、地産地消の推進
7-10	里村	52	男	働く場所の提供 競艇場の開設
7-15	里村	32	男	新幹線運行や西回り自動車道の開通に伴い、観光客の増加が期待出来る。観光を産業の柱とし、各地域の特色をいかした新しいまちづくりを進めてほしい。
7-17	里村	44	男	新市になって新しい本庁舎がどこに配置されるかはわからないが、中央だけのサービス重視ではなく、小さな地区にもいきとどいたサービスの提供ができるようにしてほしい。生まれ育った場所が就職や交通の不便さ等ですてられだれもいなくなるようなことがないようにしたい。各地区地区にあった産業の育成を行い、これからの子供たちが働ける場所を作ってほしい。
8-3	上甕村	62	男	・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドテラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施策等複合少子化交流施設の整備
8-12	上甕村	46	男	企業の誘致、起業促進 海を活かしたアイランドテラピー保養所の整備

8-14	上甌村	47	男	・海産物の販路の提供等 ・小中学校の現状維持 ・公営住宅の整備(過疎対策) ・企業誘致(工場等)
11-1	川内地区消防組合	39	男	各市町村でいろんなイベントが多く開催されていますが、合併後は各地を代表するイベントで地域の活性を図る必要があるのではないかと 川内市:花火大会と大綱引き串木野市:港まつり樋脇町:温泉を活かしたイベント入来町:天体以上のような各地の代表的なイベントを考えて地域興しに役立ててください。
11-12	川内地区消防組合	26	男	周辺市町村から人が集まるようなテーマパーク公園
11-17	川内地区消防組合	38	男	子どもたちが安心して遊べる環境が少ないのではないのでしょうか テーマパーク等の建設
11-22	川内地区消防組合	45	男	小さな事にエネルギーを費やすのではなく、大胆にして世界的にアピールできるような産業育成を住民が安心して、信頼し合える居住環境作りをしていくことで将来的に子どもたちも「この地で生活したい」と思うようなまちづくりを考えていかなければならないと思う。
11-24	川内地区消防組合	19	男	川内駅も大きくなるので駅付近に活気があればもっと明るいまちになると思う。
11-26	川内地区消防組合	27	男	子どもたちのためにテーマパーク及び、イベント会場等ができればありがたいと思います。
11-44	川内地区消防組合	25	男	大人から子どもまで楽しめるレジャー施設(遊園地等)を過疎が進む地区に誘致すれば市全体の活性化につながるのではないのでしょうか
11-45	川内地区消防組合	38	男	鹿児島市の健康の森公園みたいな小さな子どもから家族連れで1日いても飽きないような施設がない。県内でも有数の公園を作り、子どもたち自身が大人になって川内にはこんな所があるとか自慢できる大規模なゆうぐこうえんを作り、県内外からも来やすい施設を1つ作る。公営の宿泊施設の建設を行い、先に書いた運動公演で全国大会レベルの選手たちを収容する。公営の温泉施設の建設か又は熊本県の黒川温泉みたいに道路とけんち石で敷くとか景観を温泉街にしてゆったりと泊まれる保養地を作る。
11-46	川内地区消防組合	39	男	子どもたちが遊び、楽しめる遊園地の設備
11-47	川内地区消防組合	38	男	企業誘致...多くの若者が地元に残れる環境をつくって欲しいです。企業誘致で働く場所が増えれば人口も増加し活気あるまちになると思います。
11-52	川内地区消防組合	23	男	子どもから大人まで楽しく遊べるスポット(アミューズメント)
11-59	川内地区消防組合	50	男	子どもたち(幼年~大学生)が市外へ遊びに流出しないため、県内にはない大型レジャーランドを分散化せず、一ヶ所に集中して建設する。 川内川河口からの上流への川内川を活かした公園か、リバーサイド構築、川内川でのイベント。 原子力発電所周辺への企業誘致・受託建設
11-61	川内地区消防組合	55	男	海水浴場やキャンプ場の整備充実化。温泉施設の有効利用(例えば、送迎バスで市外地から誰でも利用できるように市当局で運行。大型レジャー施設(遊園地やテーマパーク等)の誘致
11-70	川内地区消防組合	23	男	県内外から多数の人が集まってくるような大型テーマパークをつくって、活気ある町になってほしいと思います。
11-82	川内地区消防組合	34	男	九州新幹線も開通するので観光客を呼べるような施設を又、家族で楽しめる施設を作ってほしい。

11-93	川内地区消防組合	40	男	川内からプロ野球の選手も生まれ川薩地区においてもミニキャンプ等ができる。将来的には川内ドームができればよいと思う。又、新幹線も福岡ー鹿児島間が1時間20分前後と九州間が近くなるので、それらを見越した集客施設をどんどん作ってもらいたい。
11-94	川内地区消防組合	38	男	再来者の多いテーマパークの開発
12-8	西薩衛生処理組合	50	男	観光面の提言ですが、今まで1市1町でしか出来なかった観光について、新市内にある温泉を統合して「温泉郷」として売り出す。
12-10	西薩衛生処理組合	43	男	串木野、甌島、川内と海洋観光都市を目指す方向でまちづくりを進めてほしいです。このまちで働いてこのまちで遊んでこのまちで暮らすまちづくり。
10	個別応募:川内市	28	男	企業誘致

産業経済(テーマ :テーマ ~ 欄で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-42	川内市	28	男	産業振興のために施策の意見と体制の強化について 現在の厳しい経済状況を反映し、産業振興の施策の充実が困難なところがあるのはわかるが、今後、ますます地域間競争(日本国内だけでなく海外を含めて)は厳しくなると言われている。他地域では例えば、ベンチャー企業の育成を図るようなインフラ整備の整備など。独自の努力をしているところもある。来るべき大競争時代に生き抜くためには、新市ならではの明確な産業振興のためのビジョンと施策が必要だと思います。現在の2市4町3村の枠組みを考えると、港は川内港、串木野新港があり、高速では3つのインターチェンジを持つことになり、漁港は串木野港をはじめ甌島にもいくつもあります。農業分野も東郷、入来等が入り充実します。このことを考えると、企画、商工、経済、農業分野の体制の大幅強化は不可欠であり、これら分野の施策の充実強化(総合、整備、再検討も含む)こそが重要だと思います。この分野はとりわけ、他地域のし烈な競争をさらされる分野であることから新市の命運を握る部門となります。このような分野こそ民間の人材を登用できるような体制(しくみ)が必要ではないかと思ひます。
1-44	川内市	51	男	港の利用促進(産業振興) 節減した金で1万t級の貨客船を購入 運行ー船会社へ委託 航路ー中国、韓国etc 運賃ー実費のみ徴収(=委託料+償却費) 全国ー安価な費用で観光客の集客、貿易の促進を図る。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	串木野のつけあげ・まぐろ、川内のラッキョウ・ちりめん、東郷のぶどう・イチゴ、入来の金柑などの農水産物は、それぞれ全国的な評価がある。新市ではこれらの旧市町名の使用とどうするのか。
1-90	川内市	26	男	商業活性化
1-104	川内市	41	男	産業振興による経済基盤の充実。少数集落でも安心して暮らせるまちづくりの推進(コミュニティの推進)。住民の声が反映される施策の推進 外に目を向けた施策の展開(国際交流、国際貿易の推進)。福祉・医療体制が充実したまちづくりの推進 障害者(弱者)に優しく、障害者がいきいきと暮らせるまちづくりの推進 学校教育環境や生涯学習環境が整備されたまちづくりの推進
2-78	串木野市	54	女	自分の住む町にある金になる物をよく見つめ、運用できるような町になってほしい。
2-96	串木野市	41	女	もう少し、工業団地が開発されたら子供達の就職先も増えてきて、素晴らしい都市になるのでは...?
2-107	串木野市	50	男	子供達が安心して働けるような企業がどんどん進出してくれるまちであってほしい。中心地までの到達時間を30分以内で行けるよう交通体系の整備を行ってほしい。行政が進めている事が住民にとって好ましくないと判明したら、速やかに再検討し、修正ができるように弾力的な行政にする。特に(長時間かかる大型事業等)子供をたくさん産んでも安心して暮らせる制度。子育て支援を充実してほしい。

3-3	樋脇町	49	女	新保健センターを核として健康づくりを進めていく。(温泉の有効活用)休養の場とする。丸山、観光農園、温泉を結んだ新しいルートの開発(温泉街の整備 古さを活用) 住民サービスはお金を使わず、頭を使おう(無料健診・検診券、無料入浴券、無料乗り物券、無料配達券、無料シルバー人材センター派遣)* ボランティアでポイントをためて自分の希望を実現する。
4-1	入来町	55	男	新市が誕生したら、各市町村の人的、物的交流を進めるために色々と有効、斬新な企画で大々的なイベントを打ち出してほしい。一方、ハード面では市街地に向かう道路は整備されつつあるが、各市町村を連結する道路は必ずしも十分でないので環状線の道路として既存の道路を拡張整備して、人の往来が容易に又、活発になるよう、事業計画に取り入れてほしい。
4-6	入来町	22	女	工夫したいこと:町の景観。歴史的建造物が多くある地域ならば、その周辺の環境にも配慮する。歩道は雰囲気を感じさせる石畳を思わせる色合いのものにする。中途半端な茶色やアスファルトでは、全体の景観が崩れてしまう。いかに歴史的建造物であったとしても、周囲に同じ時代の香りを感じさせるものがまったくなければ、見ただけで終わってしまう。合併すると、全体としてもさることながら、地域ごとに何を特色とするかも考えなければならない。そして、その特色を県内外に定着させることが課題になると思われる。施設について:図書館や博物館等施設について共通して言えることは、どこも月曜が休館日であることだ。一斉に施設が休みになってしまえば、外から訪れた方々を迎えることができない。また、屋内で展示してあるものを単に見るだけでなく、建造物群がある中に、家屋を利用してその地域の伝統的な食べ物・名産品を出す茶屋を造ることも良いのではないかと思われる。道路際にある「道の駅」も多くの人に利用してもらおうという点では有益であるが、建造物群を見て回って終わりではなく、その場で食も味わうことも、訪れた人々は求めているのではないだろうか。「魅力のあるまち」とは「立ち寄りたくなるまち」であると思う。
7-1	里村	48	女	「新市」という大きな型の中で、我々里村は、海を越えた住民レベルの交流の機会をふやしていくべきである。合併しても町や村々が、それぞれの個性を自覚し、尊重し合えるように。 里村は、今まで大切に守ってきた、習慣、風習、祭り、行事を伝統として、「新市」へアピールし、交流し合う。人々の往来も多くなるのでは…。そして、豊かな自然と、その産物を「新市」の市場の中で、活かせたらー。そうすれば「新市」の中でも、重要なもしかして貴重な観光スポットとなるのではないだろうか。
11-3	川内地区消防組合	36	男	市民は安全で活力活気のある町を望んでいるのではないかと思います。安全な街、警察・消防の活動が地域によって差が出てこない政策・対策をしなければならない。住民が安全で安心して生活できるまちを作り住民一人ひとりが平和な日々を過ごせるようにと思います。それぞれの町が合併することで様々な問題点が浮上することが予想されます。このことについては、遠くの火事ではなく、自分自身の事として住民が取り組む問題と思います。合併の当初の目的を考えたときよいまちづくりとは財政的にも潤うまちづくりである。地場産業を中心とした新しい産業への取り組み、企業誘致ではなく、地場企業での拡大を市で応援援助することによる市の発展を願う。広大な土地を活用した観光スポット(アミューズメントパーク)などの設立による鹿児島への中継基地としての観光の拠点を目指す。以上のような人を集める要素を常に研究する。
1-76	川内地区消防組合	31	男	観光客を集められるようなレジャー施設(テーマパーク)を作ってほしい。